トヨ子＆としやの 市政報告

2019年
1月号
第41号

発行者：日本共産党大垣市議団
発行日：2019年１月１日
連絡先：大垣市室本町５－８
Tel 78-6865 Fax 73-8572

笹田トヨ子　企画総務委
Eメール　sanba1@sasada-toyoko.jp
中田としや　文教厚生委
市民病院に関する委　副委員長
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com

謹賀新年　一斉選挙・参院選で国民の声を示しアベ政権打倒の年に

日頃は「市政報告」をご愛読いただき、ありがとうございます。

暴走をきわめるアベ政権ですが、国会での野党共闘による粘り強いたたかいや沖縄県知事選挙での玉城デニーさんの圧勝のなかで、情勢は劇的な変化となっています。

新年は一斉地方選挙・参議院選挙の年。市民と野党の結束で、今度こそアベ政治に終止符を打つ時です。結束のかなめとしての日本共産党の躍進に、ご支援をよろしくお願いいたします。

笹田トヨ子・中田としや・はんざわ多美

消費税10%を許さない

２０１９年は選挙の年ですが、その中で改憲と併せて大きな争点になってくるのが消費税の増税です。安倍政権は10月に消費税１０％に引き上げ、複数（軽減）税率とインボイス制度の導入を狙っています。消費税の税率が上がるたびに景気が冷え込み、5%から８％に税率を引き上げた時の経済の落ち込みが回復していない状況の中でまた上げようとしています。まちの声は「消費税が１０％に増税されたら、中小業者はもたない、廃業に追い込まれる」「給料上がっていないのに買い控えをするしかない。ますます地域がさびれる」。

夫の所得	3,100,000	国保料	579,408
		国民年金保険料	392,160
		国税	62,100
		市県民税	133,300
		固定資産税	100,000
合計	3,100,000	合計	1,266,968

大垣市内の建設業者の試算

40歳代の夫と妻、子ども2人の4人家族。売り上げが9,000,000円の建設業者で妻はパートで働いている。事業所得310万円で、年金保険料・国保料・国税・市県民税・固定資産税を合わせると所得の４１％が税や保険料等です。

★左記の表

これに消費税１０％の税金266,600円がかかってくると、税金・保険料などの合計で153万円となり、事業所得の半分が税等という重税となります。これではとても生活できません。消費税は収支が赤字であっても掛けられる過酷な税です。

売り上げ1000万円以下の場合は免税業者になれますが、インボイス制度が導入されると、免税業者は取引を断られ、課税選択を迫られることになります。

国民の立場で真実を伝え続ける しんぶん赤旗をお読みください
日刊紙…3497円　日曜版…823円

トヨ子＆としやの12月活動日誌

笹田トヨ子

【12月】
2日　女性後援会
3日　12月議会本会議
　　養老鉄道
7日　西濃社保協
8日　友の会総会
10日　一般質問
11日　興文地区センター
12日　子育て支援委員会
13日　建設環境・経済産業委員会
14日　文教厚生・企画総務委員会
17日　本会議・市民病院委員会
18日　各種団体懇談会
20日　西濃社保協・大垣市との懇談会
　　西美濃福祉会　理事会
21日　重度障がい児家族会との懇談
　　郭町再開発説明会
22日　医療福祉後援会
26日　県社保協対県交渉

中田としや

【12月】
2日　養老鉄道と大垣市の１００年看板除幕式
　　女性後援会
3日　12月議会本会議
　　養老鉄道ネットワーク
7日　西濃社保協
8日　友の会総会
10日　一般質問
12日　子育て支援委員会
13日　建設環境・経済産業委
14日　文教厚生・企画総務委
15日　保育園クリスマス会
16日　北地域訪問
17日　本会議・市民病院委
18日　議会だより編集委
19日　議会ICT化委
22日　医療福祉後援会
24日　ポスティング

12月議会報告　中田としや

園児減少で江東・南幼稚園廃園へ

子育て日本一対策委員会で、園児数の減少により江東幼稚園、南幼稚園を本年度で廃園する方針が報告されました。その理由の説明では、「来年４月の入園申し込みを行ったところ、園児数が１０人に満たない予定」であり、「子ども同士が互いに育ち合う環境のためには一定規模の人数が必要」という趣旨でした。

在園児数（２０１７．５．１現在）

	４歳	５歳	計
江東	6	8	１４
南	5	5	１０

一層の子育て支援を

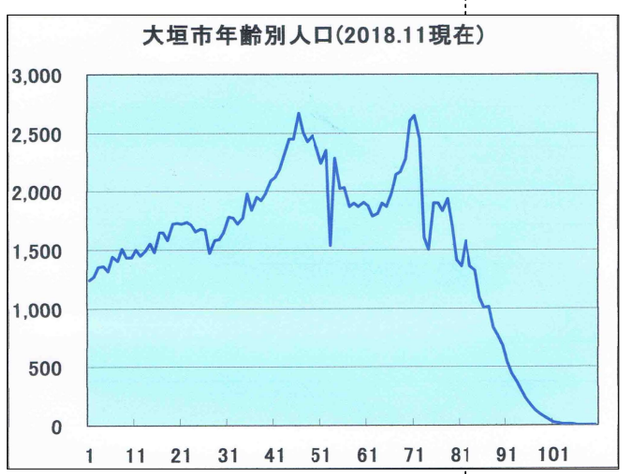
幼稚園の入園が減っている部分は、少子化に加え、親が働き、預かり時間の長い保育園に預けるようになったことが影響していると考えられます。

大垣では一番多い年代の７０歳前後、４５歳前後の２６００人をピークに、現在の３歳児は半分の約１３００人となっています。

安心して子育てできるまちを目指して、引き続き保育士の待遇改善と、子どもの居場所とな児童館機能のある場所づくりを求めて頑張ります。

垣老はどうなる？

その一方で、高齢者医療費助成制度「垣老」について、文教厚生委員会にて質問しました。現在７０歳～７４歳が窓口２割負担になるところ１割を助成し実質１割負担となる制度ですが、国が７５歳以上も窓口２割負担を検討しているところ、「垣老の今後はどうなる？対象年齢はそのままか」と問うたところ、「未定」との答弁。「垣老は大垣の宝。多くの方がありがたいと感じている制度。ぜひ存続を」と要望しました。



垣老のイメージ図。７０歳～７４歳は窓口２割負担のところ、垣老によって１割負担で済んでいる。

ガードレールの要望

設置に中田市議　尽力

設置されたガードレールは、禾森１丁目(禾森町３丁目)の新規川東橋詰の堤防で、写真の中央民家の手前です。こちらから自動車で橋を渡ると、以前はガードレールがなく、徐行しているものの、堤防下に落ちるような不安がありました。

要望を聞いた中田市議は市役所生活安全課に問い合わせたところ、堤防上に設置するので河川管理者の県の了解が必要とのことでした。そこで、中田市議は「としやニュース」で近隣の住民の方々に状況を知らせながら、市の対応を待ちました。

早い市の対応に感謝

予算も必要なので、次年度にでも設置していただければと思っていましたが、市の尽力で、半年もかからず予想以上に早く対応していただけ、このほど設置されました。

夜間に車で通りかかったときなど、ガードレールがライトに浮かび上がり、安全に通行できるようになりました。

生活上の不便は、住んでいる方がよくわかることで、今後とも中田市議に要望をお寄せください。

設置されたガードレール(中央奥の赤い矢印)

日本共産党大垣女性後援会が発足

１２月２日、共産党女性後援会ミモザ花の会が発足しました。国際女性デーにちなんだ名前で、女性の視点から政策提言も行おうと確認されました。

12月議会報告　笹田トヨ子

非正規公務員の待遇改善を

大垣市役所には約4100人の職員が働いており、その内約1500人が非正規職員です。その中には保育士さんのようにフルタイムで働く臨時的任用職員の人もいます。しかし、雇用期間は１会計年度内で6か月ごとの契約更新が行われるものです。民間で働く非正規労働者は労働契約法で５年以上になる場合は常勤職員として採用しなければなりません。しかし公務員は期間で契約しているため、雇い止めになっても法律違反ではありません。何年働いても賃金は変わらず、一時金も育休や特別休暇もありません。

2017年に地方公務員法などの法改正があり、会計年度任用職員としてその労働条件など条例で定めることになり、行政サービスの質の確保や非常勤職員の身分の安定や処遇改善について質問しました。

市長は「この制度はこれまでの臨時・非常勤職員に代わり、１会計年度内に限り任用され、任期は１年を上限とし、再度の任用も可能」「パートタイムとフルタイムの勤務形態が設けられ、フルタイム勤務には給料・諸手当が支給されるとともに、現行制度で支給されなかった期末手当の支給が可能」とのこと。

処遇については「条例規則等において、諸手当の支給に関する規程の整備をはじめ、休暇制度や保険、服務等の各種規程を設け、国会の付帯決議を尊重し、制度移行に際して不利益が生じないように、適切な勤務形態を整備する」また、「制度移行を契機とした民間委託については考えていない」という答弁でした。

会計年度任用職員については、来年９月議会に関係条例案が提出され平成３２年４月に新制度に移行される予定です。

日本共産党大垣女性後援会が発足

１２月２日、共産党女性後援会ミモザ花の会が発足しました。国際女性デーにちなんだ名前で、女性の視点から政策提言も行おうと確認されました。

はんざわ多美の 市政ウォッチング

「垣老」を守りたい

はんざわ多美

「垣老」継続は未定？

先日、委員会のなかで中田議員が「垣老」は継続ですか？と質問されました。行政担当者から返ってきた応えは「今後は未定」とのことでした。

わたしは今後数年間は、「垣老」存続のための重要な局面を迎えるのではないかと感じています。なぜなら政府は75歳以上をも医療費の窓口負担原則2割とする検討を財政審議会で行っているからです。

「垣老」は大垣の宝

現在、国の制度では、７５歳以上の後期高齢の方が医療費１割負担の対象です。ほとんどの自治体はそれにならっています。下の図は、平成３０年度の高齢者の窓口負担の表です。大垣市は、全国でも珍しい７０歳から窓口負担１割の制度をもっています。これが「垣老」といわれる制度です。全国的には自己負担２割になるところを、大垣市は独自に市財政から１割分の助成をして、高齢者が安心して医療にかかれるようにしているのです。

年齢	～69	70～74	75～
大垣市	３割	１割	１割
岐阜市	３割	２割	１割
国	３割	２割	１割

＊原則であり、現役並み所得の人は３割負担

「垣老」については、本当に助かると高齢者からは評判です。１割負担と２割負担の差は、定まった年金で暮らす高齢者にとっては重大です。しかも高齢になると身体のあちこちが不調をきたします。お金のことを気にして医者にかかるのが遅れてしまう例も少なくありません。年金受給者の3分の1が基礎年金のみで、その平均支給月額4万4千円（全国）とも言われています。病気は年金の多い少ないにかかわらずだれにでも起こるので、やはり誰もが安心して受診ができる制度が必要だと強く感じます。

「垣老」を守り抜く

高齢者からの「医療費がたくさんかかるのでこれから先が心配」「年金が下がってきているのでお金が足りるか心配」という声があります。本当に切実な訴えだと感じています。

「垣老」はある程度、国の制度との連動で考えざるを得ない点はありますが、大垣市に対しての市民の粘り強い運動の成果によって守ってきた制度です。老後も安心して暮らしていくためのこの制度を必ず守っていきたいと思います。